

「アナニアとサフィラ」

2016年03月15日

使徒言行録5章1節～11節。ところが、アナニアという男は、妻のサフィラと相談して土地を売り、妻も承知のうえで、代金をごまかし、その一部を持って来て使徒たちの足もとに置いた。すると、ペトロは言った。「アナニア、なぜ、あなたはサタンに心を奪われ、聖霊を欺いて、土地の代金をごまかしたのか。売らないでおけば、あなたのものだったし、また、売っても、その代金は自分の思いどおりになったのではないか。どうして、こんなことをする気になったのか。あなたは人間を欺いたのではなく、神を欺いたのだ。」この言葉を聞くと、アナニアは倒れて息が絶えた。そのことを耳にした人々は皆、非常に恐れた。若者たちが立ち上がって死体を包み、運び出して葬った。それから三時間ほどたって、アナニアの妻がこの出来事を知らずに入って来た。ペトロは彼女に話しかけた。「あなたたちは、あの土地をこれこれの値段で売ったのか。言いなさい。」彼女は、「はい、その値段です」と言った。ペトロは言った。「二人で示し合わせて、主の霊を試すとは、何としたことか。見なさい。あなたの夫を葬りに行った人たちが、もう入り口まで来ている。今度はあなたを担ぎ出すだろう。」すると、彼女はたちまちペトロの足もとに倒れ、息が絶えた。青年たちは入って来て、彼女の死んでいるのを見ると、運び出し、夫のそばに葬った。教会全体とこれを聞いた人は皆、非常に恐れた。

エルサレム教会に集まった人々は持ち物を売り払い、そのお金を共有し、各々の必要に応じて分かち合う生活をしていた。主イエスはすぐに再臨され、終末が来るという信仰が私物を献げ切る共有生活を可能にしたのである。アナニアとサフィラ夫婦も教会に加わろうとして、土地を売った。その時、二人は代金をごまかし、一部を使徒たちの足もとに置いた。すると、ペトロはアナニアに言った。あなたはサタンに心を奪われ、聖霊を欺いて、土地の代金をごまかした。売らないでおけばあなたのものだったし、売っても自分の思い通りになった。あなたは人間を欺いたのではなく、神を欺いたのだ。ペトロの言葉を聞いたアナニアはその場に倒れ、息が絶えた。若者たちは死体を運び、葬った。3時間ほど経って、何も知らない妻サフィラが入って来た。ペトロは彼女に、あなた方の土地はこれこれの値段で売ったのかと聞いた。彼女は「はい、その値段です」と答えた。ペトロは言った。二人で示し合わせて、主の霊を試した。あなたの夫を葬りに行った人たちが入口まで来ている。今度はあなたも担ぎ出されるだろう。すると、彼女もペトロの足もとに倒れ、息が絶えた。アナニアを葬った若者はサフィラの遺体をも運び出し、夫の傍に葬った。人々はこの出来事を見て、非常に恐れた。この記述は、聖霊を欺く者が神に裁かれ、死んだというメッセージであろう。また使徒ペトロの権威を強く伝えようとしている。

この出来事が事実だとしたら、次のように理解すべきである。まず、神は自らの手を下して、人を裁いて殺すことはあり得ない。夫婦共々息が絶えたとすれば、あまりに厳格な共有生活をしている中、欺いたことが恥ずかしく心臓発作を起こして死んだのである。エルサレム教会は愛と真実に溢れる群れであったが、それについて行けない人を死に至らせるほどの、カルト集団のような共同体であったということである。夫の死を妻に知らせることなく葬るなど、非常識である。こんな教会であってはいけない。私たちは皆、弱さを抱えながら教会生活をしている。それを受容するのが教会である。アナニア、サフィラ夫婦は終末に対する不信があったので、ごまかそうという思いが起きたのではないか。